

氏名	張 平平	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	2003年静岡県立大学大学院看護学研究科修士課程、2006年千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程				
経歴	2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本老年看護学会、日本地域看護学会、日本看護科学学会、日本世代間交流学会、日本リハビリテーション連携科学学会、千葉看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、文化看護学会、日中医学協会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	埼玉県の通所介護における個別機能訓練加算(Ⅱ)の算定状況と課題:個別機能訓練指導員の保有資格による影響	共著	あり	リハビリテーション連携科学、20(2)、167-173	常盤文枝、臼倉京子、張平平、金さやか、菊本東陽	2019.12
2	放課後子供教室における異学年間の交流促進を目的とした実践報告-教員と大学生の共同による準備と当日の展開-	共著	なし	子ども・教職研究、3、53-67	森田満理子、保科寧子、藤枝静暁、上原美子、黒田真由美、松本佳子、張平平、望月浩江	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	Efforts to improve daily life performance in community-living elderly people who use daycare services -Review of Japanese literature-	共同	Advanced Nursing 2019 Global Conference on Nursing care and Education Roma	○PingPing Zhang, Kyoko Usukura, Fumie Tokiwa, Fumihiko Hoshi, Sayaka Kon, Toyo Kikumoto, Yuji Koike, Ayaka Kawai	2019.9	
2	看護学生が考える高齢者の生きがい及び生きがいへの関わり	単独	第39回日本看護科学学会学術集会、石川県金沢市	○張平平	2019.11	
3	通所介護事業所における生活行為の課題解決に向けた機能訓練指導研修会プログラムの作成と実際	共同	日本リハビリテーション連携科学学会第21回大会、埼玉県越谷市	○常盤文枝、臼倉京子、小池裕二、河合綾香、菊本東陽、金さやか、張平平	2020.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科学研究費助成事業基盤研究(C)		日本と中国における脳卒中高齢者の在宅療養生活が継続できる家族介護力の特徴	研究代表者:張平平	2019年度~2021年度	
2	科学研究費助成事業挑戦的研究(萌芽)		通所介護における生活行為の向上を視点としたマネジメントモデルの開発	研究代表者:臼倉京子 研究分担者:張平平	2017年度~2019年度	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
2	老年看護学Ⅰ(総論)	○	8	ライフステージの老年期を生きる方々の特徴及び、老年看護の基本について1年次の学生136名に教授した。また、高齢者への理解を深めるために視聴覚教材を活用した。		
3	老年看護学Ⅲ(高齢者と地域)		8	老年看護学実習Ⅱでの体験をもとに地域包括ケアの視点から高齢者をとりまく社会システム構築の必要性和重要性に対する理解を強化するための授業で、3年次の学生によるグループワークの指導を行った。		
4	看護研究		15	3年次生を対象とする看護研究の授業のうち、文献検索とクリティークの方法、文献の整理、文献研究の方法について教授した。具体的な研究方法の教授については質的研究方法に関する授業を担当した。		
5	老年看護援助論	○	15	老年看護の実践と研究との統合を図りつつ、質の高い老年看護援助方法を創出するために博士前期課程の大学院生を対象に超高齢社会の情勢に応じた老年看護学領域の研究の動向、高齢者理解のための諸理論、高齢者を対象とした先駆的な援助方法について教授した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅱ(高齢者と家族)		30	要介護高齢者を対象とした看護過程が展開される中、活動性が低下した高齢者への移動援助に関する演習の教育指導を担当した。3年生を対象に高齢者擬似体験装具を用いた演習を実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学実習Ⅰ		2019.4～2019.6	2年次学生21名を対象に2か所の高齢者福祉センターでの実習指導を担当した。学生は地域で生活する元気高齢者への理解が深まったのみならず、地域高齢者を支える社会資源に関する認識も強化された。
2	老年看護学実習Ⅱ		2019.10～2019.12	3年次の学生22名を対象に、介護老人保健施設での8週間(4クール)の実習指導を担当した。学生は受け持ち高齢患者への関わりを通して、看護過程の展開ができ、さらに老年看護の基本的実践能力も養うことができた。学生の個性に合わせた指導に力を注いだ。
3	総合実習		2019.4～2019.8	老年看護学領域を希望した4年次学生4名を対象に介護老人福祉施設での実習指導を行った。学生達は自分のもつ課題への取り組みができたのみならず、既習知識を活かした集大成も成し遂げられた。
4	IPW実習		2019.8～2019.10	本学多学科からの学生5名と埼玉医科大学学生1名の計6名の学生を対象に専門職連携実践に関する指導を行った。相互の専門性を理解しつつ、各自の強みを生かしたケアプランの作成において状況に応じた指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2020.3	主指導	3名 副指導 0名
2	修士論文	2019.4～2020.3	主指導(指導教員)	1名 副指導(指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	老年看護学実習Ⅱ 指導者会議開催	2020.2.21	老年看護学実習Ⅱに関わった臨地実習指導者と一堂になって、実習状況の結果報告及び、これからの実習指導に関する協議を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2019年度埼玉県「高齢者元気力アップ応援事業所」認定事業研修会	埼玉県地域包括ケア課	「生活課題解決型機能訓練研修」	2019.9.19
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	文化看護学会編集委員会	委員		2017.4～2020.3
2	日本リハビリテーション連携科学学会第21回大会実行委員会	委員		2019.4～2020.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	東武よみうり新聞	「経穴刺激による腰痛改善」掲載 (第30回「県立大発! 耳より健康情報」)		2019.11.18
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発センタープロジェクト研究B及びプロジェクト研究Fへの参加		2017～2019年度
2	学科等における委員会等	看護学科4年次生担任及び国試対策プロジェクト担当		2016～2019年度
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				